

仕事と生活の バランス

2023
SUMMER
vol.61

言わせない
「仕事と私どっちが大事？」

（2022ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ
ひょうご仕事と生活センター長賞作品）

わが社のWLBな人

詳しくは裏表紙へ



特集

小規模な事業所だからって 諦めていませんか？

4・5 | 事業報告 6・7 | センターからのお知らせ／県政トピックス

8 | わが社のWLBな人

社員の声がつぶさに反映されることが楽しい

Earthink株式会社(三田市) 従業員数 15人 【2022年度表彰企業】

海外BtoC、採用担当 山本優衣さん

小さな会社では取組のためのマンパワーを確保しづらいものですが、当社ではチーム制という形で無理なく進めています。私も本業の担当業務に加えて、採用チームとDXチームに所属しています。このチーム制を始めたのは2年ほど前。やる事が新しく増えることになりましたが、負担が増えるのではなく、自分たちの意見やアイデアが取り上げられ、組織づくりに直接反映されることによるやりがいや楽しさの方が増えたと、私はポジティブに捉えています。

チーム活動だけでなく業務面でも、社員と経営者の距離が近いことは小規模な事業所の強みだと思います。毎日お昼の時間に社長から経営を巡る話があり、リモートを含めて出勤している全社員がそれを直接聞いています。また、毎

日の業務内容を記入する日報に社長が必ず目を通し、全員に対して具体的なアドバイスを含むフィードバックをしてくれることも、日々の仕事のやりがいにつながっています。

WLB推進は、主に社員のためのものです。社員の声を細かく反映させればさせるほど、会社はよくなります。一人一人が会社に直接声を届け、経営に反映させることができるこのメリットを、これからもどんどん伸ばしていきたいと思っています。



工夫次第で全員が生き生きと働ける職場に

株式会社上林電気商会(明石市) 従業員数 16人 【2021年度表彰企業】

代表取締役 上林将経さん

当社ではコミュニケーションを円滑に行うためのツールを使って、全ての社員そしてパートさんの思考や行動の特性を見える化し、全社で共有しています。少人数の会社で、みんなが確実に同じ方向を向いて働けるようにと始めたものです。「みんな仲良くしよう」ということではありません。他人同士、合わない人だっています。ただ、せっかく縁あって一緒に働くのですから、それぞれがお互いのことをよく知り、最適なコミュニケーションを取れるようにしたいのです。

小さな会社では、全員が主役で活躍するレギュラー選手です。個々人の強みや弱みを、社員同士だけでなく、会社も的確に把握することで、可能な限りおのおのの得意に応じた

業務配分ができるようになり、働きがいの向上にもつながっていると思います。工夫次第で一人一人に対応した組織運営ができることこそ、小さな会社の強みではないでしょうか。

「会社の規模が小さいからできない」ということはありません。小規模なりの難しさはありますが、諦めず挑戦してみると、案外うまくいくものです。取り組む勇気と努力、熱意は必要ですが、あまり背伸びせず、できることを探しながら、少しずつでも進めていくことが大切だと思います。



社員が安心して声を上げられる組織に

株式会社成田(洲本市) 従業員数 32人 【2022年度表彰企業】

専務取締役 福井啓太さん

当社では、社員にとって心理的安全性の高い組織をどうやったら醸成できるか、内発的動機付けをどうやったら高められるかということに注力してきました。

まず大切なのは社員の声に耳を傾けることです。私は社員からの不平不満の声が大好きで、出れば出るほどうれしくなります。社員からの不平不満の声は会社が成長するチャンスであり、今の時代、一方的なトップダウンの経営だけではうまくいきません。社員の声を引き出し、社員が安心して声を上げられる組織を実現することが大切であると考えています。

その一つが10年ビジョンワークショップです。社員全員が人生で実現したいことを書き出し、それが日々の業務とどう

つながっているのかを考えながら、全社員共通の共有ビジョンを作ります。ワークを通じて、社員が主体的に経営に関わるのが組織にとって大きなプラスとなると感じています。

最終的な意思決定は経営者の役割ですが、私は、WLBを推進する上で社員一人一人の意見を尊重し社員が主体的に関わるのが大切だと考えます。全ての社員が、働きやすい環境下で自己実現を図ることができるよう、引き続きWLBの推進に尽力していきます。



企業向けワーケーション導入セミナーを開催しました

2023年3月16日、オフィスや自宅とは異なる場所で働きつつ豊かな時間を過ごす新しい働き方「ワーケーション」の推進を目的とする「企業向けワーケーション導入セミナー」を開催。オンラインでの配信という形で実施し、61人が視聴しました。

ひょうご仕事と生活センターは、2021年度にワーケーション推進の取組を開始。ホームページにワーケーションのページを設けるとともに、第1回ワーケーションセミナー（基礎編）を開催しました。第2回の今回は、導入編として企業のワーケーション導入を後押しする内容で、講演とパネルディスカッションの2部構成で実施しました。

第1部は、経団連（一般財団法人日本経済団体連合会）の美波朋大氏と岡篤志氏が登壇。「企業向けワーケーション導入ガイド―場所にとらわれない働き方の最大活用―」と題し、講演しました。ワーケーションの効果をはじめ、企業の実施事例、導入へのルール整備などについて解説。「テレワークを導入済みであれば、新たに整備することは多くない。スモールスタートでいいので、ぜひ始めてほしい」と締めくくりました。

第2部のパネルディスカッションは、ワーケーションには絶好の場所の淡路市を会場に実施。大阪湾を望む兵庫県立淡路夢舞台国際会議場にパネリストが集まりました。同会議場に隣接するホテル、グランドニッコー淡路の浅海典夫営業支配人が施設内容やワーケーション特別割引プランを説明した後、ディスカッションに移りました。

テーマは「テレワークを活用した多様で柔軟な働き方を目指して」。長年、数々の企業のテレワーク推進に携わってきた社会保険労務士の武田かおり氏を進行役に、パネリストである県内3社の代表が、テレワークやワーケーションに



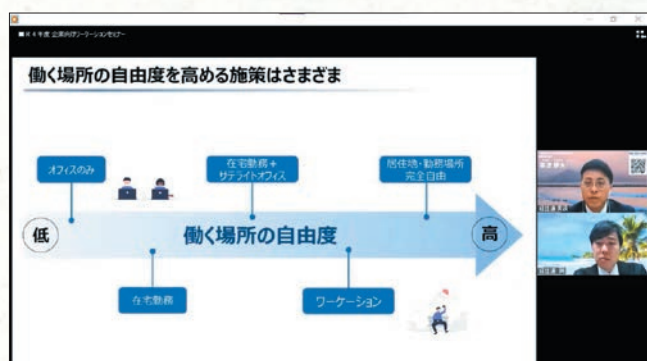
パネリストの皆さん（左から武田氏、後藤氏、歯菜氏、関根氏）

どのように取り組んでいるかを紹介しました。

株式会社阪技代表取締役社長の後藤純次氏は「沖縄のサテライトオフィスでの現地企業との交流が新たなアイデアを生んでいる。人との交流が学びにつながっている」とワーケーションの効果について言及しました。株式会社ハヤブサ代表取締役社長の歯菜由美氏は、「業務に最適な環境を社員自身が選択するテレワークシステムにより、自立型人材の育成を行っている」と説明。「仕事とプライベートを分けたい人もいます。まずは仕事の属人化解消とペーパーレス化を進める」と述べました。介護業界においてワーケーションを推進したいとする株式会社SMILE PLACE代表取締役の関根秀行氏は、「宍粟市の体験ツアーに参加したことで休暇型ワーケーションの良さを実感。導入に向け整備を進めたい」と述べ、「初めの一歩が大事。トライ＆エラーの精神で取り組んでみては」とメッセージを送りました。

●パネリストの紹介

(株) 阪技 (高砂市) 代表取締役社長 後藤純次氏 【2018年度表彰企業】	「企業の成長には人の育成が不可欠で、時には働く環境を変えて社外の人と交流し見聞を広めることが必要」と沖縄にサテライトオフィスを開設し、柔軟な働き方と幅広い活用を検討。
(株) ハヤブサ (三木市) 代表取締役社長 歯菜由美氏 【2022年度表彰企業】	2020年の新社屋整備を機に、フリーアドレス制を導入。近年は人材確保に向け時間と場所を自由に選べる働き方、ABWの推進に注力。
(株) SMILE PLACE (神戸市) 代表取締役 関根秀行氏 【2019年度宣言企業】	2017年に異業種から介護福祉分野に参入。介護福祉業界に新しい風を吹かせたいと、ワーケーション制度の導入も検討。
社会保険労務士法人NSR テレワークスタイル推進室 CWO 武田かおり氏	ひょうご仕事と生活センター外部専門家。2008年から「テレワーク社労士」としてセミナー、講演、テレワーク導入支援・相談に対応。



経団連によるオンライン講演

2022年度兵庫県立大学との 共同研究報告会を開催しました

2023年3月、兵庫県立大学国際商経学部の加納ゼミ、高階ゼミとひょうご仕事と生活センター(以下センター)の共同研究報告会を協力企業各社にて行いました。

本共同研究は2012年度から実施しており、毎年、選定した企業へのヒアリングを行い、ワーク・ライフ・バランス

(WLB)に関する研究テーマを設定して調査し、学生の新たな視点から課題の洗い出しや検討を行うことで、企業・団体のWLB推進支援につなげることを目的としています。

2022年度は3企業の協力を得て従業員へのアンケート調査を実施した上で、分析を行いました。



株式会社TAT(ネイル卸・小売業)【2014年度表彰企業】

従業員の平均年齢が33.9歳と若く自由な社風の株式会社TAT。高階ゼミの3チームがそれぞれテーマを設定して分析し、その結果、以下のことが明らかになりました。

- ・介護や子育て等の私生活情報をオープンにすることで、社内コミュニケーションが良好になる。
- ・仕事内容や進め方の自由度が高ければ、創意工夫や自発性が生まれて仕事の満足度が高くなる。
- ・テレワークを積極的に進めることで、移動時間削減、自由時間の増加によりWLBにポジティブな影響がある。また、心理的安全性が高く発言しやすい雰囲気があり、会社への愛着心が高い従業員が多い。



株式会社明和工務店(建設業)【2018年度宣言企業】

建物に関わる全ての仕事に対応できるよう、1社でカバーできる体制を整えている株式会社明和工務店。加納ゼミの2チームが担当し、分析を行い、その結果から以下のような提案がされました。

- ・事務部門と比べ工事部門では残業時間が多いため、残業の原因を個人面談等で把握し、対策を取ることが効果的。
- ・社員同士の助け合いをより活発化するために、「今週の〇〇さん」等、お互いを知る機会を増やすことが効果的。
- ・休暇を取りやすい環境づくりのために、先輩のノウハウ集や社内SNS等で見える化する。

報告会の参加者からは、「具体的に提案されたことを実践してみたい」という声を頂きました。



但南建設株式会社(建設業)【2021年度表彰企業】

先輩社員が相談役になるメンター制度を導入・実践している但南建設株式会社。加納ゼミの2チームが担当し、分析を行い、その結果から以下のような提案がされました。

- ・自身の人生や今後のキャリアに関心のある従業員が多かったため、将来的にどんな役割の仕事をしていきたいかを面談する「キャリアコンサルティング制度」を充実させる。
- ・仕事内容や進捗等の情報共有にやや課題が見られる。社長が「情報共有のためのアプリを導入したが活用が進んでいない」と話されたことから、うまく生かせるよう、まずは写真をアップする等、アプリを使うハードルを下げてデータを蓄積し、将来的に業務に役立ててはどうか。

報告会の参加者からは、「コミュニケーションが非常に良好であるとの調査結果が出ており、情報共有を活発にすることで、さらに活気のある組織にしたい」との声を頂きました。

まとめ

各社の調査結果から、WLBの取組を積極的に推進することが、企業・団体や職場にとってプラスの影響を与えることが分かりました。この報告結果は他の企業・団体においても参考となるものであり、今後のセンターでの支援に生かしていきます。

ワーク・ライフ・バランス キャッチフレーズ募集

ワーク・ライフ・バランス(WLB)の普及を図るため、県内企業や団体でのWLBの取組を促進するキャッチフレーズを募集しています。入賞作品はカレンダーやポスターに使用するなど、広く活用します。皆さんからのたくさんの応募をお待ちしています。

【募集テーマ】共に創る、未来のための新しい働き方を促進するキャッチフレーズ

【対象】兵庫県在住・在勤・在学の人

【応募方法】オンラインフォームから応募

【応募締切】7月28日(金)

【表彰】▶ 兵庫県雇用対策三者会議賞(グランプリ)

副賞 3万円(一般の部1点、学生の部1点)

▶ 兵庫労働局長賞・働き方改革賞(準グランプリ)

副賞 1万円(一般の部1点、学生の部1点)

▶ ひょうご仕事と生活センター長賞(佳作)

副賞 5,000円(一般の部1点、学生の部1点)



オンラインフォーム
はこちら



応募に関する
詳細はこちら

ひょうご仕事と生活センター シンボルキャラクター名称募集

2017年に誕生以来皆さんに親しまれてきたシンボルキャラクター「WLB7」の名称を募集しています。WLBを推進する7人の各キャラクターに名前を付けてください。

【WLBを推進する7人の社員】

ペンギン (子育て) …………… 夫婦共働きで協力しながら子育て

さる (介護) …………… 親の介護を行いながら職務に励む

くま (在宅勤務) …………… テレワークを利用して在宅勤務

ライオン (キーパーソン) ……… 社内におけるWLBの旗振り役

みつばち (女性活躍) …………… 女性社員のリーダーで初の女性役員候補

ぞう (再雇用) …………… 再雇用制度を利用するベテラン

カエル (フレックスタイム) …… フレックスタイムを利用



オンラインフォーム
はこちら



応募に関する
詳細はこちら

【対象】どなたでも応募できます

【応募方法】オンラインフォームから応募

【応募締切】7月28日(金)

【副賞】採用されると、各キャラクターごとに5,000円+ペンギンのぬいぐるみ(非売品)

2023年度上期

ひょうご仕事と生活の調和推進認定申請企業の募集

当センターでは、ワーク・ライフ・バランスの取組を進め、一定の成果を収めている企業・団体を厳正に審査し、「認定」しています。認定審査を希望する企業・団体のご応募をお待ちしています。

認定企業になると

- 認定企業としてホームページ等で企業名や取組が広く周知され、イメージアップにつながります
- ハローワークの求人票や求人広告でPRでき、人材確保の効果が期待できます
- ひょうご仕事と生活センターと連携している金融機関等で優遇金利での融資などの支援を受けられます

(2023年4月末現在)



認定企業の声

若い人の応募が増え、優秀な人材が確保できた！

従業員満足度が向上し離職率が下がった！

【対象】「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録されている県内事業者で、「ワーク・ライフ・バランスWEB自己診断システム」の総合評価が概ね星印2つ以上の場合、応募できます。

【応募方法】次の書類をセンターまで持参または郵送

- ① ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定申請書
 - ② 労働関係法令等チェックリスト
 - ③ ワーク・ライフ・バランスWEB自己診断システムの診断結果(写し)
- ※申請書類はセンターのホームページからダウンロードできます

【応募締切】7月21日(金)



兵庫で働きたい人材を無料で企業にご紹介します ～職場体験受け入れ企業募集 無料

兵庫県では、県内で正社員として働きたい人を対象に、お試して企業を体験する機会を提供し、求職者の適性に合った企業への就職を支援する事業「おためし企業体験事業 in HYOGO」を実施しています。

今回、新たに職場体験を受け入れる企業を募集します。求職者の紹介から職場体験・見学の受け入れ、採用まで、費用は無料です。

また、受入企業への謝金(体験時間が4時間以上の場合、2万円を支給)および採用の際の支援金(就職氷河期世代や首都圏からの参加求職者を正規雇用した場合、10万円を支給)などの企業インセンティブを設けています。詳しくは、専用サイトをご覧ください。申し込みをお待ちしています。

【事業の流れ】

申し込み

希望者の募集・紹介

職場体験・見学

選考・採用

問い合わせ先：兵庫県「おためし企業体験事業 in HYOGO」運営事務局(株学情)

TEL 06-6346-6303

詳細はこちら→



わが社のWLBな人

シンボルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランス(WLB)を進める方々をFacebook、Instagramで取り上げています。

2023年1月～4月に取り上げた人・グループを投稿日順に紹介します。



Instagram



facebook



WLB7

- ペンギン(子育て)…夫婦共働きで協力しながら子育て
- さる(介護)…親の介護を行いながら職務に励む
- くま(在宅勤務)…テレワークを利用して在宅勤務
- ライオン(キーパーソン)…社内におけるWLBの旗振り役
- みつばち(女性活躍)…女性社員のリーダーで初の女性役員候補
- ぞう(再雇用)…再雇用制度を利用するベテラン
- カエル(フレックスタイム)…フレックスタイムを利用

【2022年度認定企業】

タジマ食品工業株式会社(豊岡市) 女性活躍推進会議メンバー



(女性活躍)

同社が昨年度に実施した従業員アンケートでは「高い役職を担いたくない」「他の部署の人と話したことがない」などの声が女性から寄せられました。この結果を受けて「多くの女性が活躍しているのに、もったいない!」と、この会議が始まりました。さまざまな部署から勤続年数5年～26年の女性6人が集まり、最初は茶話会のよう

な気軽に話ができる意見交換の場とし、その後、キャリアについて考えるために異業種が集まる外部研修にも参加しました。メンバーもさまざまな刺激を受けて帰ってきたそうです。同社の「明るく、楽しく」をモットーに皆さんが笑顔で話されているのがとても印象的でした。

(2023年1月)

【2022年度認定企業】

株式会社プルメリア(神戸市) 木原さん



(子育て)

木原さんは、「児童発達管理責任者」兼「管理者」という一つの事業所の運営を任されている立場で、1カ月近い育児休業を取得されました。会社へ育児休業を申請した時、「おめでとう」「しっかり家庭をサポートしてください」と温かい言葉で快く受け入れてくれ、個人に寄り添いサポートしてくれる会社だと強く感じ、安心されたとの

こと。「仕事は楽しく、やりがいを感じていますが、それと同じくらい家庭は大切です」と木原さん。今回の育休を終え、「家庭は仕事のモチベーションにつながり、仕事は家庭を支える大切な存在だということを改めて考えることができました」とお話しされました。

(2023年3月)

【2021年度表彰企業】

ハートフードクリエイツ株式会社(神戸市) 三浦さん



(在宅勤務)

三浦さんは、入社8年目。栄養士の資格を生かして保育園での給食事業、スイーツ事業の業務を経て、産休・育休に入りました。育休が終了する頃「子どもが成長する様子を見ていたい」と復帰後は短時間勤務制度を利用することに。しかし、希望に合う保育園が見つからず「一度退職するしかないかな」と社長に相談

したところ、「在宅勤務で保育園の献立表を作るとかどう?」と打診されました。現在はアルバイトとして、週に5時間程度在宅で働いています。在宅勤務は始まったばかりですが、仕事に集中するため、お子さんが寝ている時間に作業をするなど、工夫をされているそうです。

(2023年4月)

センターの主な事業

- ワンストップ相談 ● コーディネーター、コンサルタントの派遣 ● 研修・実践支援の実施
- テレワークサポートセンター ● 自己診断システム ● 中小企業従業員意識調査 ● 企業助成

公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会 ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00(祝休日、年末・年始を除く)

阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-98

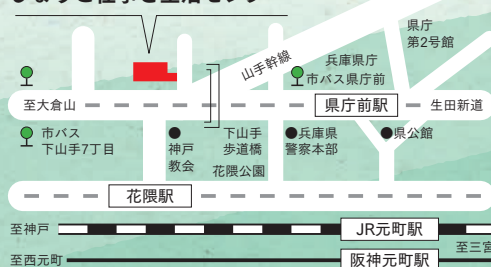
兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603

携帯、
タブレットから
アクセスできます



兵庫県中央労働センター1階 ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

(2023年6月発行)

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索

小規模な事業所だからって諦めていませんか？

ひょうご仕事と生活センター(以下センター)には、多くの事業所から取組宣言を頂いています。宣言制度が始まって10年が経過し、取組宣言をした県内企業は、2023年4月末で3,400社に達しました。ただ、その過半数は従業員が20人以下の小規模な事業所で、宣言はしたものの、取組をなかなかうまく進められないという声も耳にします。

小規模な事業所だからこそ進めやすいことがあります

大企業ではワーク・ライフ・バランス(WLB)や女性活躍、ダイバーシティなどの推進を担当する専門部署が設けられていますが、小規模な事業所ではなかなかその余裕がありません。社員は自分の担当業務に手いっぱいであり、それ以外にはとても手が回らない、また、活動に投入する予算を思うように捻出できないなど、小規模な事業所に不利な条件が少なからずあることは否めません。

とはいえ、「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞している企業・団体の中には、小規模な事業所も含まれています。

今回はそんな小規模な表彰企業3社にお話を聞き

ました。前述のような難しさを抱えながらも、むしろ小規模な事業所ならではの強みを積極的に生かしながら取組を進め、採用や定着といった課題もうまくクリアしている様子が共通してうかがえました。

経営者から若手社員まで、組織の全員が全員と向き合って直接コミュニケーションを取りながら一緒に働けるのは、小規模な事業所だからこそそのメリットです。一人一人の気持ちに寄り添いながら働きがいを引き出していくことも、小規模な事業所の方が実現しやすいかもしれません。あなたの会社も、ぜひ思い切って一歩を踏み出してください。

小規模な事業所のWLB推進を応援 —2023年度センターの取組内容—

センターでは、小規模な事業所の皆さんの取組が進むよう、本年度は以下の事業を予定しています。

①ワーク・ライフ・バランス基礎講座の充実

従来の年3回の基礎講座に加えて、小規模な事業所向けの講座を新たに実施します(開催時期・内容が決まり次第案内します)。

②ワーク・ライフ・バランスの基礎的な手引書の改訂

『WLBのすすめ こんなときどうする』を本年度中に改訂し、宣言企業等に配布します。

③兵庫働き方改革推進支援センターとの連携強化

主に20人以下の小規模な事業所を対象に、「働き方改革」の法改正に対応するための支援を実施する同センターと連携し、取組を強化します。

兵庫働き方改革推進支援センター

中小企業の「働き方改革」の法改正への対応、人材確保に向けた取組、助成金の活用を支援します。

【事業内容】

- ①電話相談
- ②専門家による訪問コンサルティング
- ③セミナーや社内研修に講師を無料派遣

〒651-0085

神戸市中央区八幡通3-2-5 IN東洋ビル6階

TEL ☎0120-791149

E-mail hyogo-hatarakikata@lec-jp.com

